

こんにちは！日本ファブテックKAPシステム部です。

10月になり、少しずつ秋らしさを感じるようになりました□
秋といえば、お月見🎑〇
実は秋の月がきれいに見えるのには、空気の澄み方にも理由があるそうです。
夏に比べて空気中の水蒸気が少なくなり、空気が澄んで月がくっきり見えやすくなるそうです。

日本では**「月にはウサギがいて、餅つきをしている」**といわれていますが、
実は世界各地で月の模様にまつわるお話があるそうです🐰
ヨーロッパでは人の顔□、南米ではロバ□に見えるなど、国によって見えるものが違うのだとか…
同じ月を見上げても、文化によって見え方が変わるなんて面白いですよね□
今年のお月見は、ぜひ夜空を見上げて、自分には何が見えるか探してみてはいかがでしょうか☺

今月も、皆様のお役に立てる情報をお届けしてまいります。
今回は『EGリング クラウド判定』についてご紹介します(^^)/

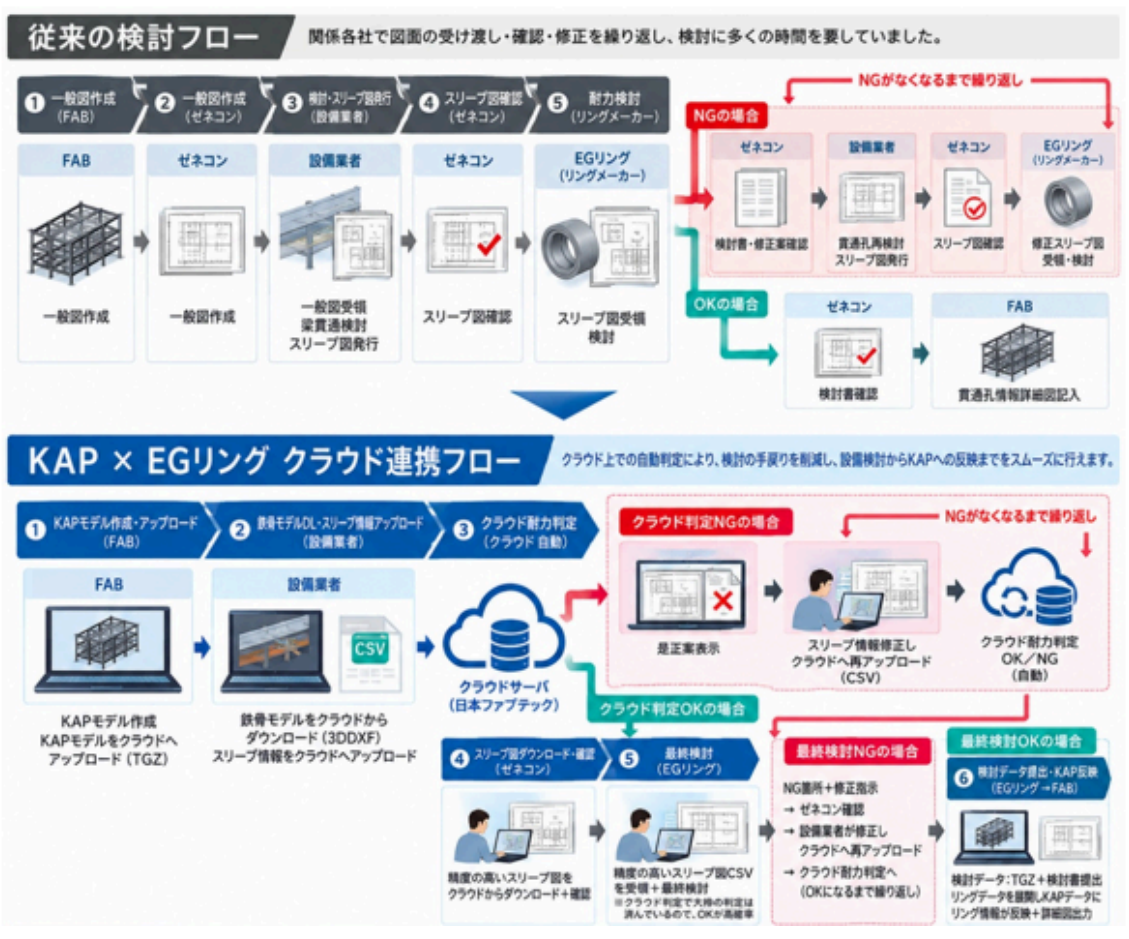
❓ KAP×EGリング・クラウド連携とは・・・

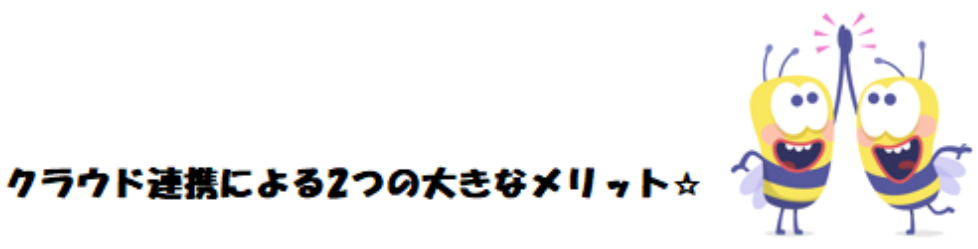
梁貫通・スリーブの検討では、FAB、ゼネコン、設備業者、リングメーカーなど、複数の関係者による図面の受け渡しや確認が必要です。

従来は、FABが作成した一般図をもとに、設備業者が梁貫通を検討してスリーブ図を発行。
ゼネコンでの確認を経てリングメーカーが耐力検討を行い、NGとなった場合には、検討書や修正案を確認したうえで設備業者が貫通孔を再検討し、再びスリーブ図を発行します。
そのため、下記の工程をNGがなくなるまで繰り返す必要がありました。



□ですが、KAPシステムとEGリングをクラウド連携することで、自動的に耐力判定が行われ、この検討フローを効率化し、設備検討にかかる時間とKAPを利用するFABの作業時間を大幅に削減します！





1□　設備検討の手戻りを削減

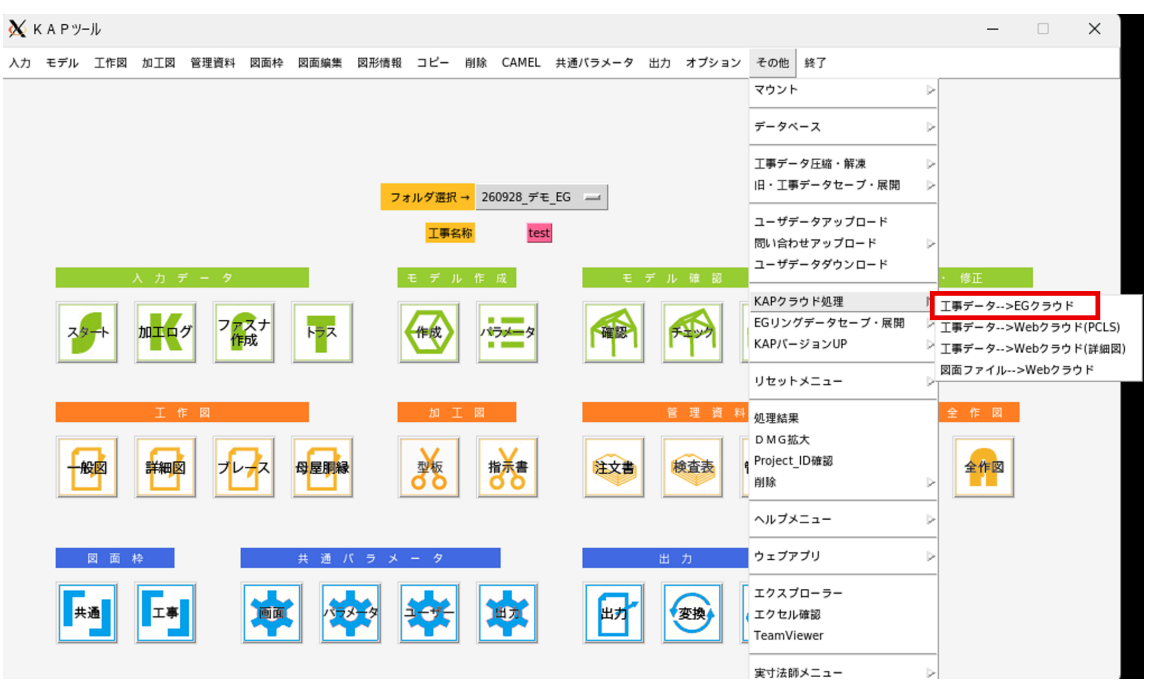
設備業者自身がクラウドを利用して事前に耐力判定を行えるため、早い段階でNG箇所を確認・修正ができます。その結果、初回から精度の高いスリーブ図を発行でき、設備業者・ゼネコン・リングメーカー間で繰り返していた検討や修正作業の大幅な削減につながります。

2□　FABのKAP入力作業を削減

EGリングによる最終検討後のデータをKAPへ取り込むことで、リング情報をKAPモデルへ反映できます。FAB側でリングの型式などを手入力する必要がなくなり、モデルへの反映から詳細図出力までの作業時間を大幅に削減できます。

【工事データのクラウドUP】
クラウドで3Dモデル(dxf)の出力やクラウド判定を行う為に、モデル作成後のKAP工事データをクラウドにアップロードします。

🖵「その他」→「KAPクラウド処理」→「工事データ-->EGクラウド」



【3Dモデルの取得】
EG設備判定メニューでプロジェクトIDを入力し、出力したい階を選択する事で
3Dモデル(dxf)が出力されます。
※EG設備判定メニューは専用のURLを発行が必要

🖵「プロジェクトIDを入力」→「3Dモデル取得」
🖵「モデル出力階を選択」→「3Dモデルダウンロード」

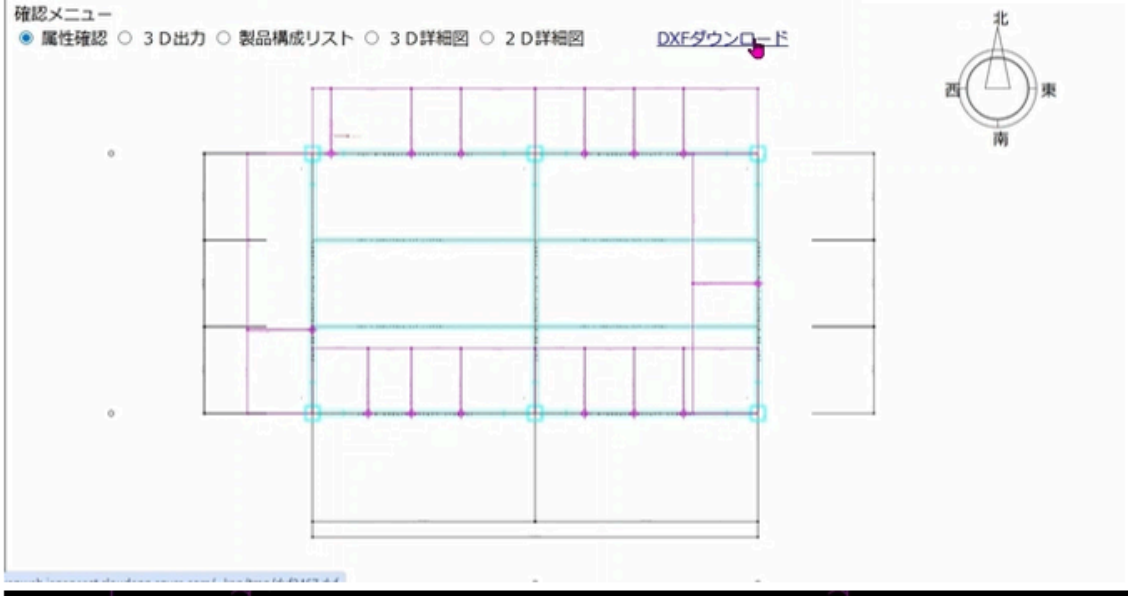


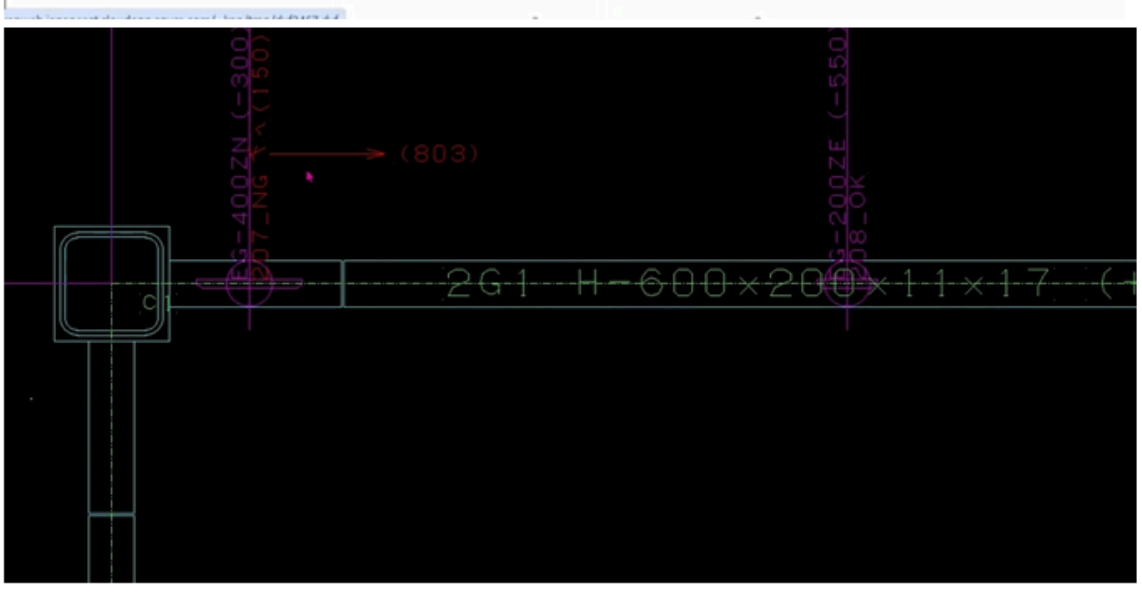
【スリーブ情報アップロード】
EG設備判定メニューでプロジェクトIDを入力し、判定を行いたい階を選択する事で
判定結果が出力されます。

🖵「プロジェクトIDを入力」→「設備CSVアップロード」
🖵「判定階を選択」→「設備CSVファイル選択」→「アップロード」



【クラウド耐力判定画面】





NGの場合もクラウド上で再検討□

□クラウド判定でNGとなった箇所については、クラウド上に是正案を表示。
設備業者がその内容を確認してスリーブ情報を修正し、CSVデータを再度アップロードすることで、再びクラウド上で耐力判定を行えます。
NGがなくなるまでこの工程を繰り返すことで、リングメーカーによる最終検討へ進む前に、あらかじめNG箇所を減らすことができます。
これにより、**1回目から精度の高いスリーブ図を発行することが可能となり、検討・修正にかかる時間を大幅に削減します。**

クラウド判定OK後はEGリング部で最終検討□

□クラウド判定でOKとなったスリーブ情報は、クラウドからダウンロードしてゼネコンで確認後、EGリング部にて最終検討を行います。
クラウド上で事前に大まかな耐力判定が完了しているため、EGリング部による最終検討へ進む段階では、OKとなる可能性の高いスリーブ情報で検討を行うことができます。
万が一、最終検討でNGとなった場合は、EGリング部からNG箇所と修正内容を提示。設備業者がスリーブ情報を修正し、再びクラウド判定を行います。

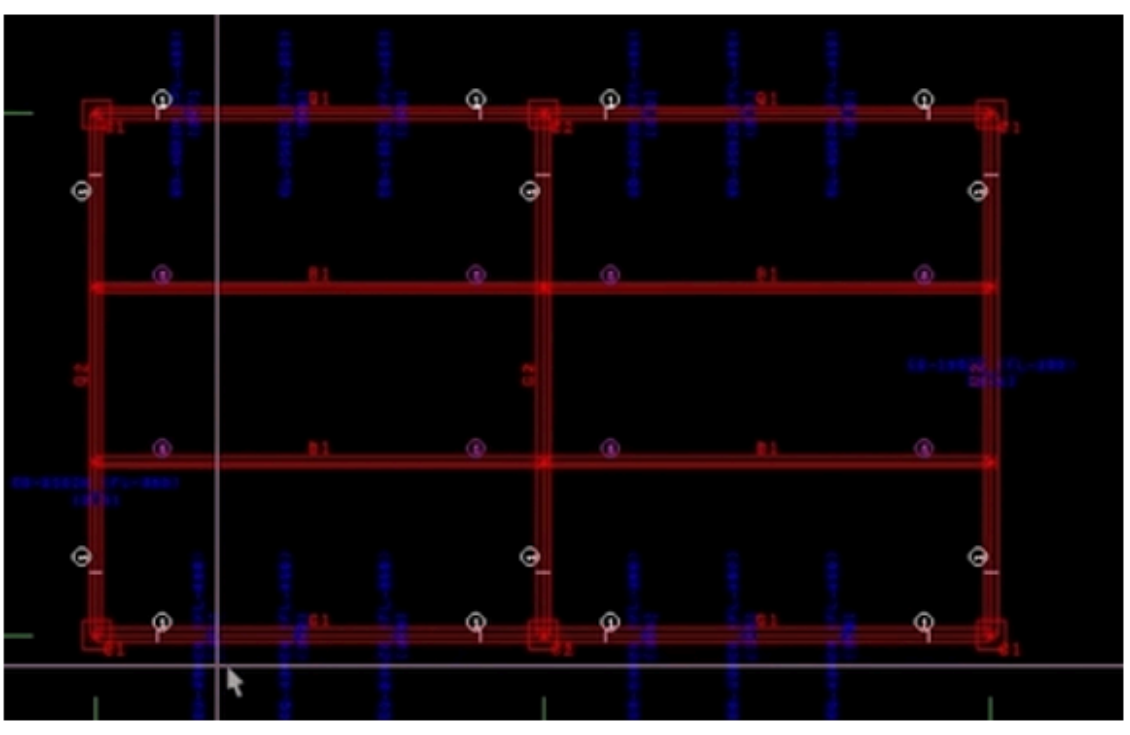
最終検討データをそのままKAPへ✨

EGリング部での最終検討がOKとなった後は、検討データ(tgz)と検討書を提出します。
FABでは、この検討データをKAPへ展開することで、**EGリング部の情報をKAPモデルへ反映し、そのまま詳細図出力へつなげることができます。**
リングの型式などをFAB側で改めて入力する必要がないため、入力作業の削減にもつながります。

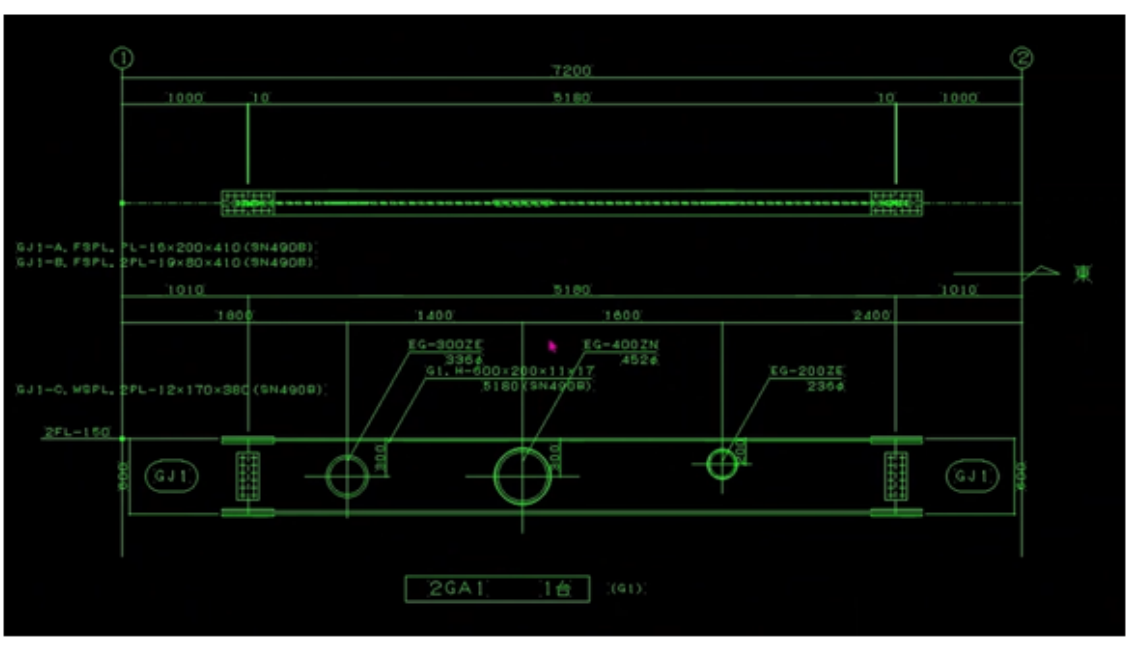
【EGリング検討データ取込画面】
最終検討データをKAP工事データに反映させます。
🖵「その他」→「EGリングデータセーブ・展開」→「EGリング階別データ展開」



【KAPモデルへのリング情報反映画面】



【詳細図出力イメージ】



〜〜　クラウド判定をご希望の方へ　〜〜

データの受け渡しおよび耐力判定に使用するクラウドサーバは、
日本ファブテックが提供しています。
クラウド判定のご利用をご希望の場合には、**専用URL**を**発行**いたしますので
日本ファブテック **KAP**システム部までお問い合わせください(*^^)v

以上『EGリング クラウド判定』についてご紹介しました⁉
今後の業務にお役立ていただけましたらうれしいです！
最後まで読んでくださり、ありがとうございました😊
次回配信予定は **11月2日（月）**となります。ぜひお楽しみに😄⁉

〒108-0023　東京都港区芝浦4丁目15番33号芝浦清水ビル6階
日本ファブテック株式会社
TEL：03-6705-0794
最新情報はHPからCHECK□
https://www.kapsystem.jp/update
配信停止手続きはこちらをクリックしてください